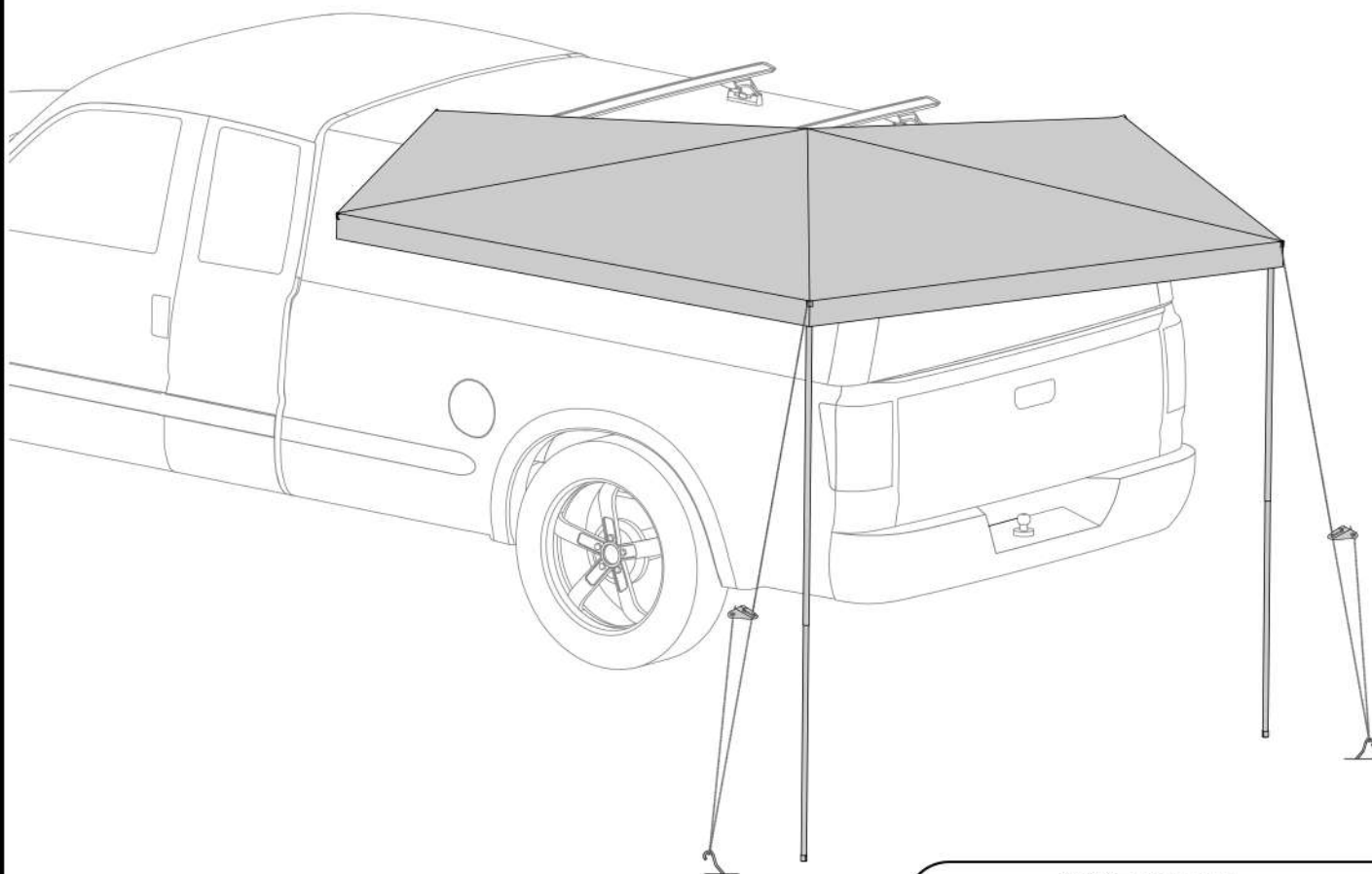


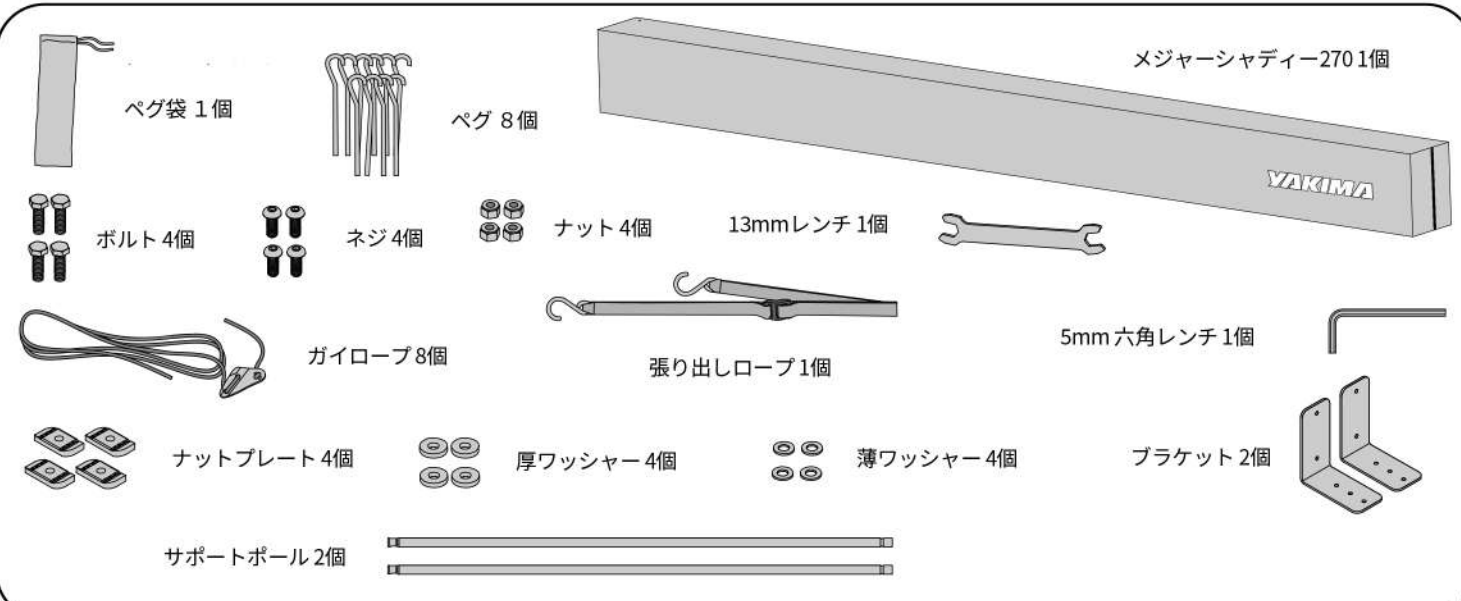


推奨アクセサリ

メジャーシャディーシングルウォールキット #8007464

注意：この説明書では、左側展開の商品が表示されています。

セット内容

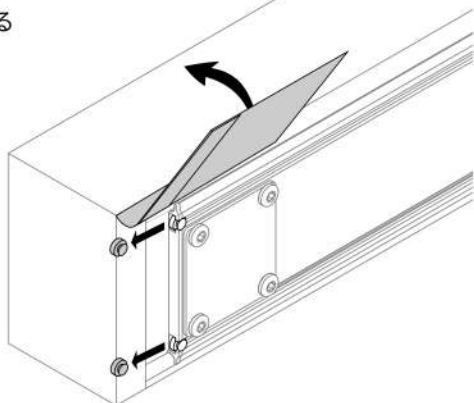




注意：組み立てを始める前に、オーニングのジッパーを開けベグ袋を取り出してください。

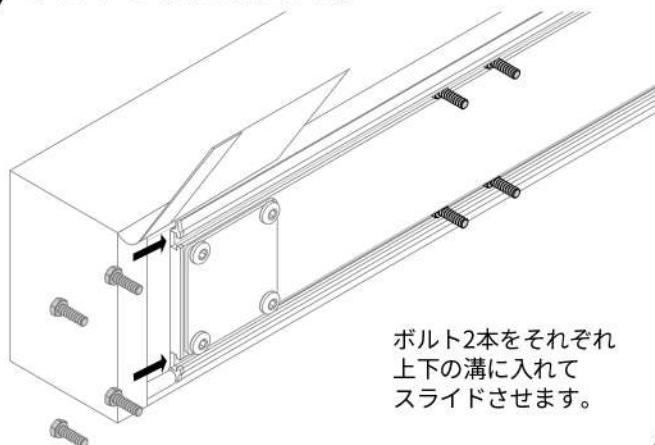
1 ゴムプラグを外します。

カバー内側にある
ゴムプラグを
取り外します。



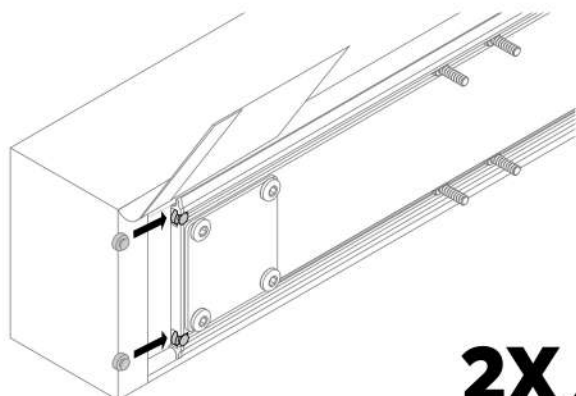
2 ボルトを取り付けます。

ボルト2本をそれぞれ
上下の溝に入れて
スライドさせます。



3 プラグを再び取り付けます。

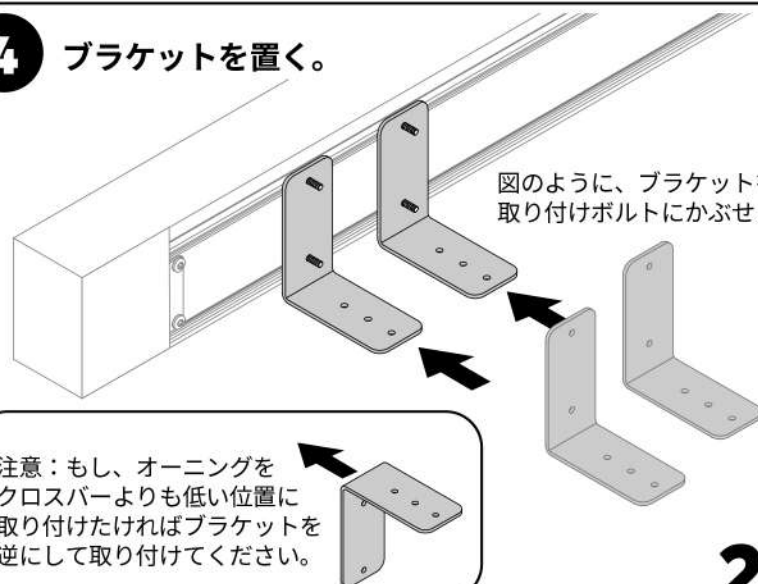
ゴムプラグはオーニング内部への浸水を防ぎます。
図のようにプラグを戻しカバーを閉じます。



2X

4 ブラケットを置く。

図のように、ブラケットを
取り付けボルトにかぶせます。

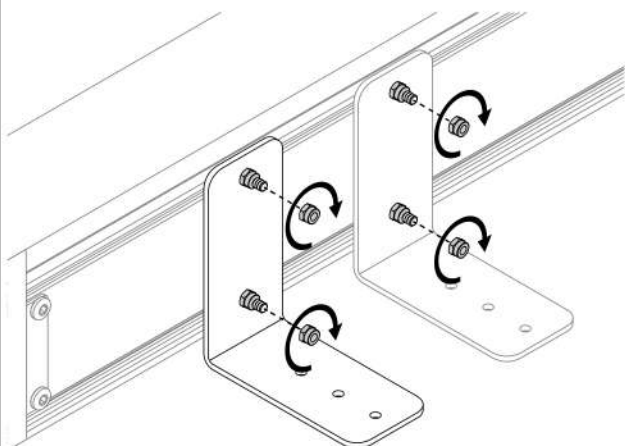


注意：もし、オーニングを
クロスバーよりも低い位置に
取り付けたい場合はブラケットを
逆にして取り付けてください。

2X

5 ナットを緩く取り付け。

13mmのレンチを使い、ナットをボルトに
緩く取り付けます。



4X



ジェットストリームバーへの取り付けについては
3ページに進んでください。



HDバーへの取り付けについては、
ブラケット取り付け方法に関する特別な説明のため、
5ページをご覧ください。



TrimHDバーへの取り付けについては、
5ページに進んでください。

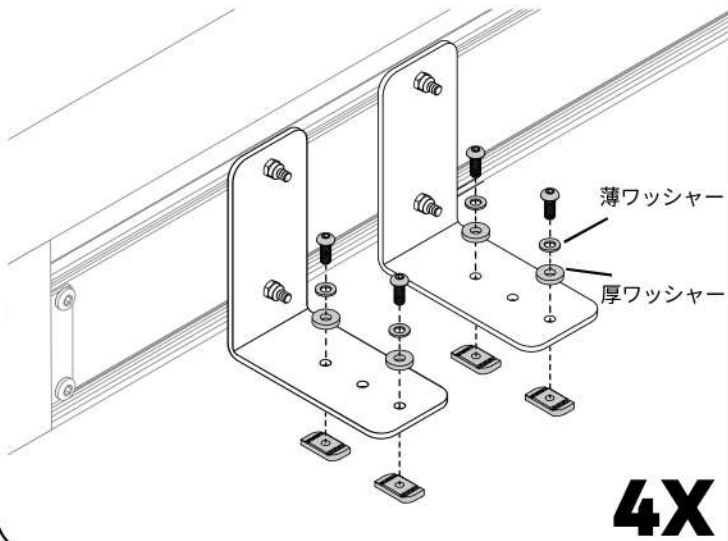


ロックンロードへの設置については、
5ページを参照してください。
ブラケットへの取り付け、
ナットプレートを挿入する方法を説明します。

ジェットストリームバーへの取り付け

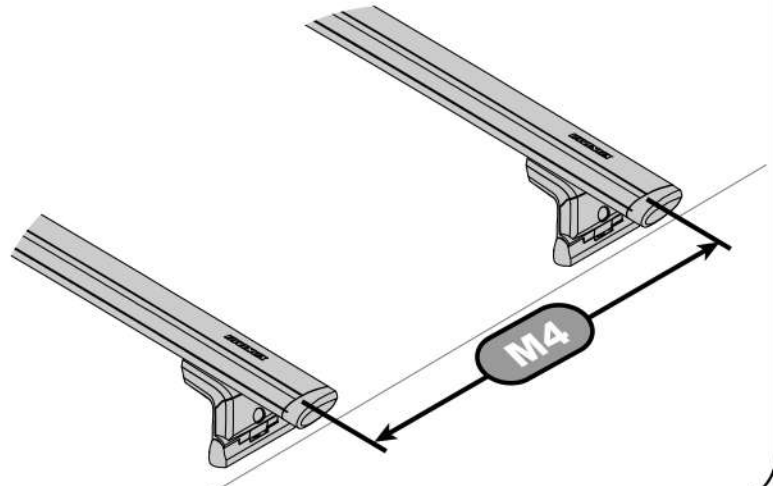
1 ナットプレートを緩く取り付ける。

5mmの六角レンチを使い、ナットを取り付ける。
各ブラケットにネジ2本、薄ワッシャー2枚、
厚ワッシャー2枚を使用します。



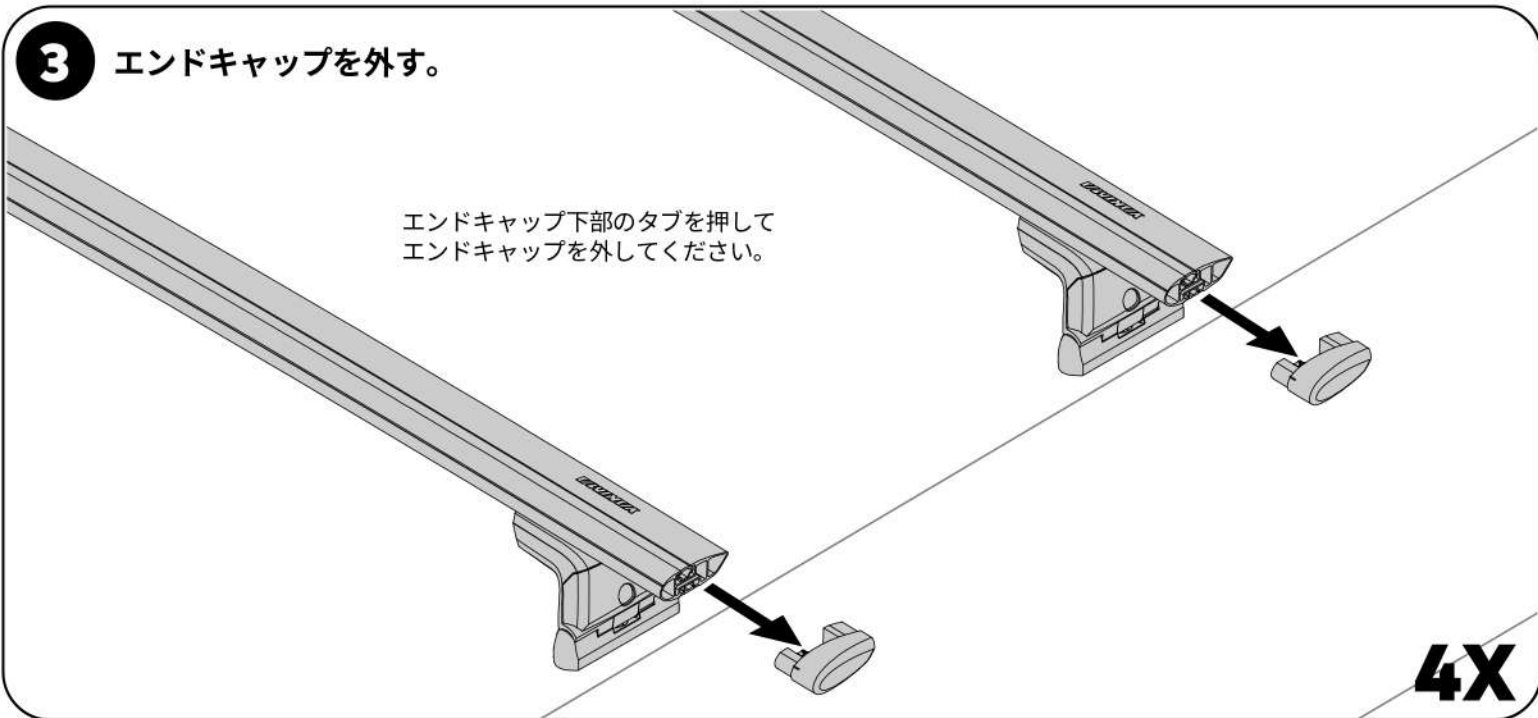
2 前後のクロスバー間隔を測る。

クロスバーのTスロットの間隔を
測定します。これがM4寸法ですので
書き控えておいてください。



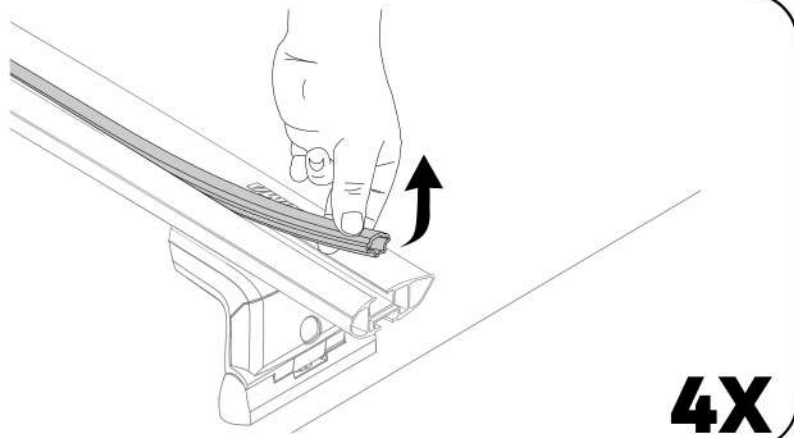
3 エンドキャップを外す。

エンドキャップ下部のタブを押して
エンドキャップを外してください。



4 クロスバーのTスロットを確認します。

ウェザーストリップをTスロットの溝から外します。

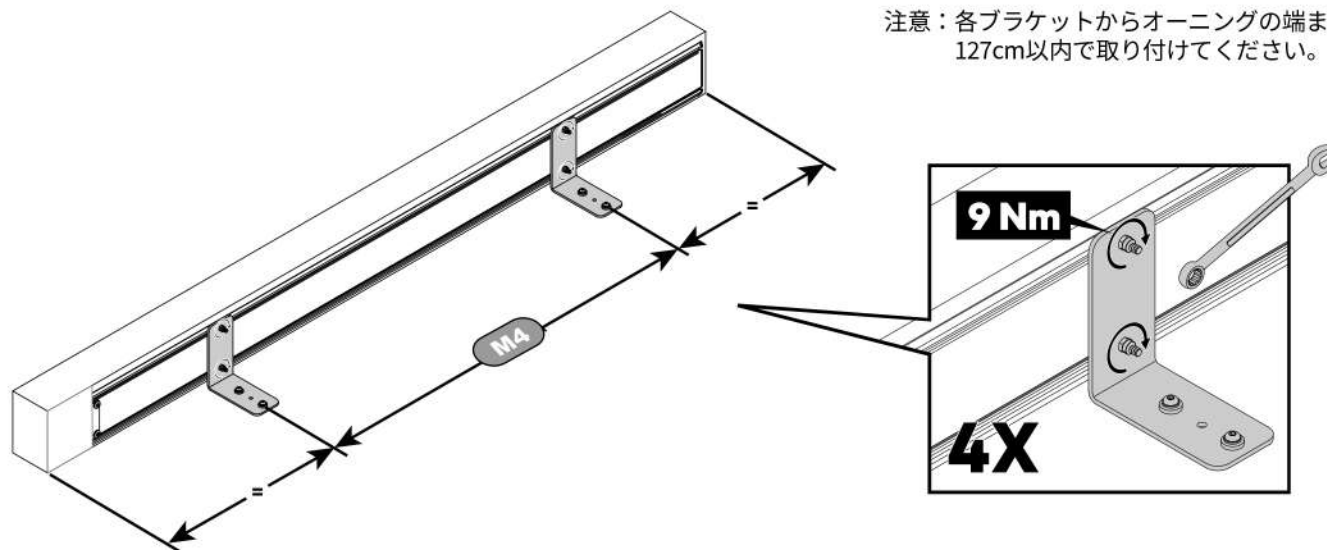


5 ブラケットの位置を決めます。

ブラケット中央がM4の寸法に合うように調整します。

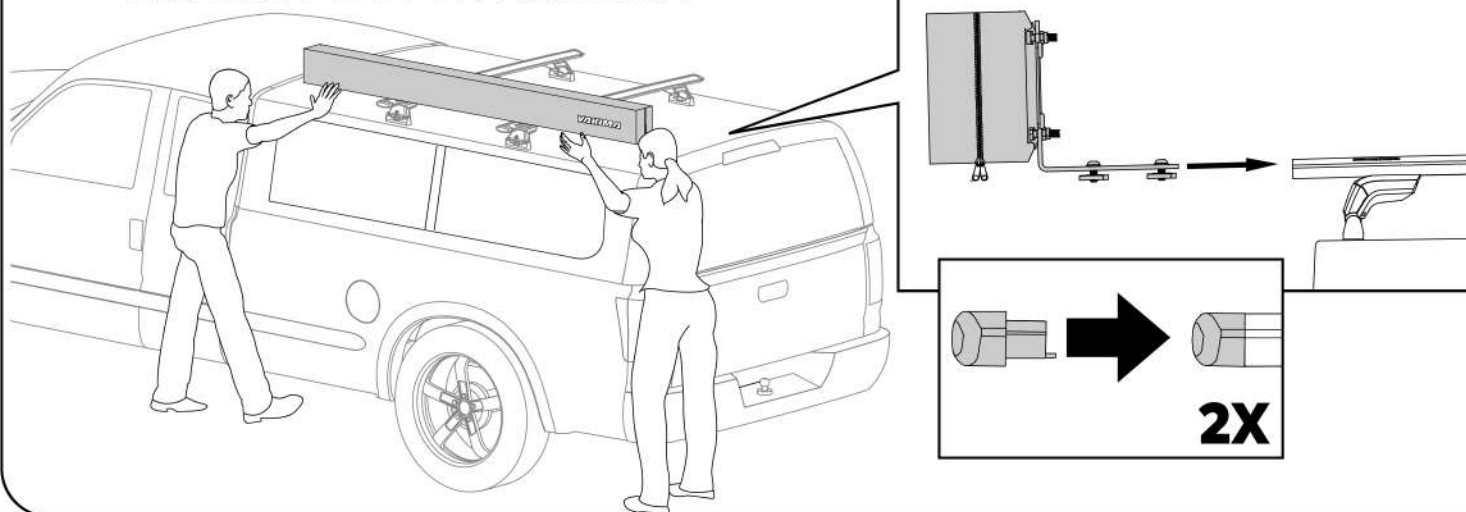
注意：ブラケットは左右両端から均等の位置に取り付けるようにし、9Nmで締めます。

注意：各ブラケットからオーニングの端までは127cm以内に取り付けてください。



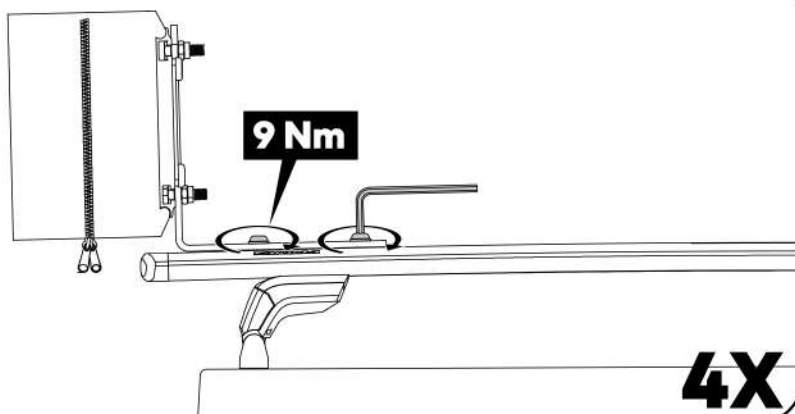
6 ナットプレートをクロスバーの溝にスライドさせる。

オーニングを持ち上げ、ナットプレートをジェットストリームバーのTスロットに挿入します。この作業は2人以上で行ってください。その後、クロスバーにエンドキャップを取り付けます。



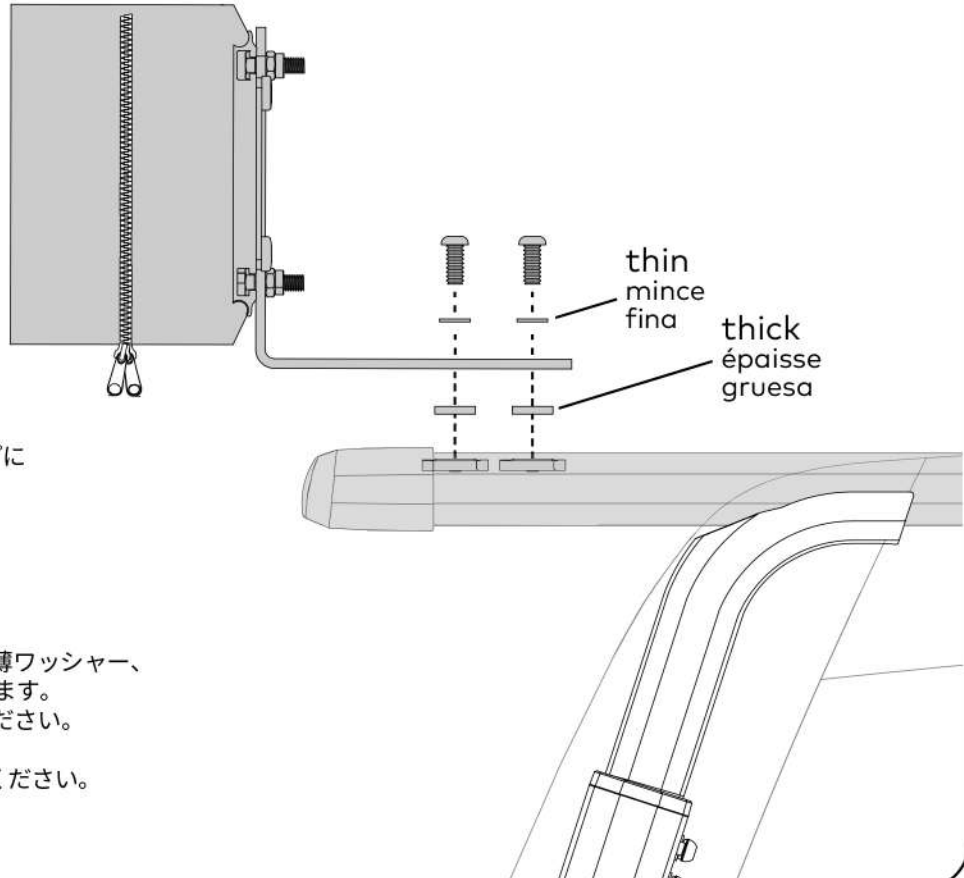
7 ナットプレートを締める。

六角レンチを使いネジを9Nmで完全に締めつける。



7ページのステップ8に進んでください。

HDバーへの取り付け

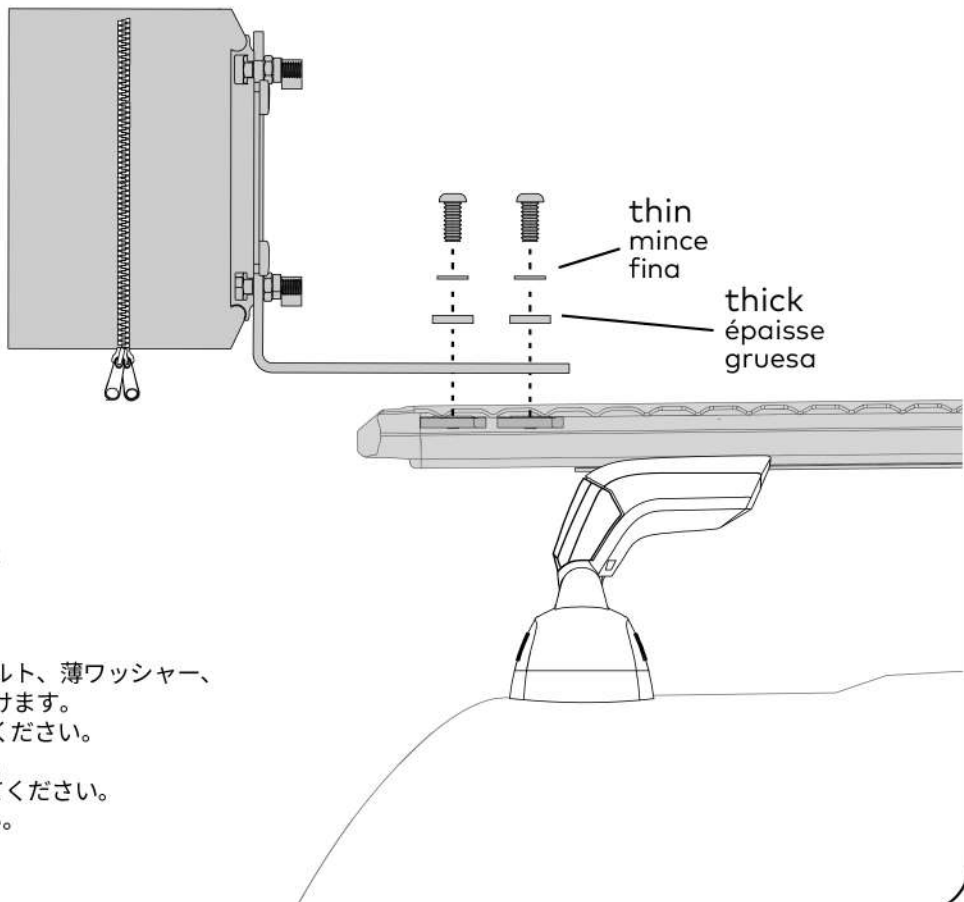


注意：厚ワッシャーはHDバーの上に置き、
L型ブラケットがHDバーのエンドキャップに
干渉しないようにします。

注意：各ブラケットからオーニングの端までは
127cm以内で取り付けてください。

- HDバーに取り付ける場合は、右図のボルト、薄ワッシャー、
L型ブラケット、厚ワッシャーの順で締めつけます。
- 3ページのステップ2に進み、M4を測定してください。
- 3ページのステップ3と4は飛ばしてください。
- その後、4ページのステップ5、6、7に従ってください。
- 最後に7ページのステップ8に進んでください。

TrimHDバーへの取り付け

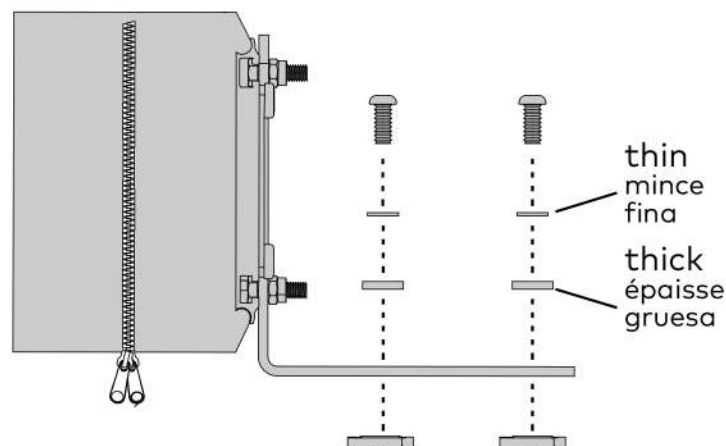


注意：各ブラケットからオーニングの端までは
127cm以内で取り付けてください。

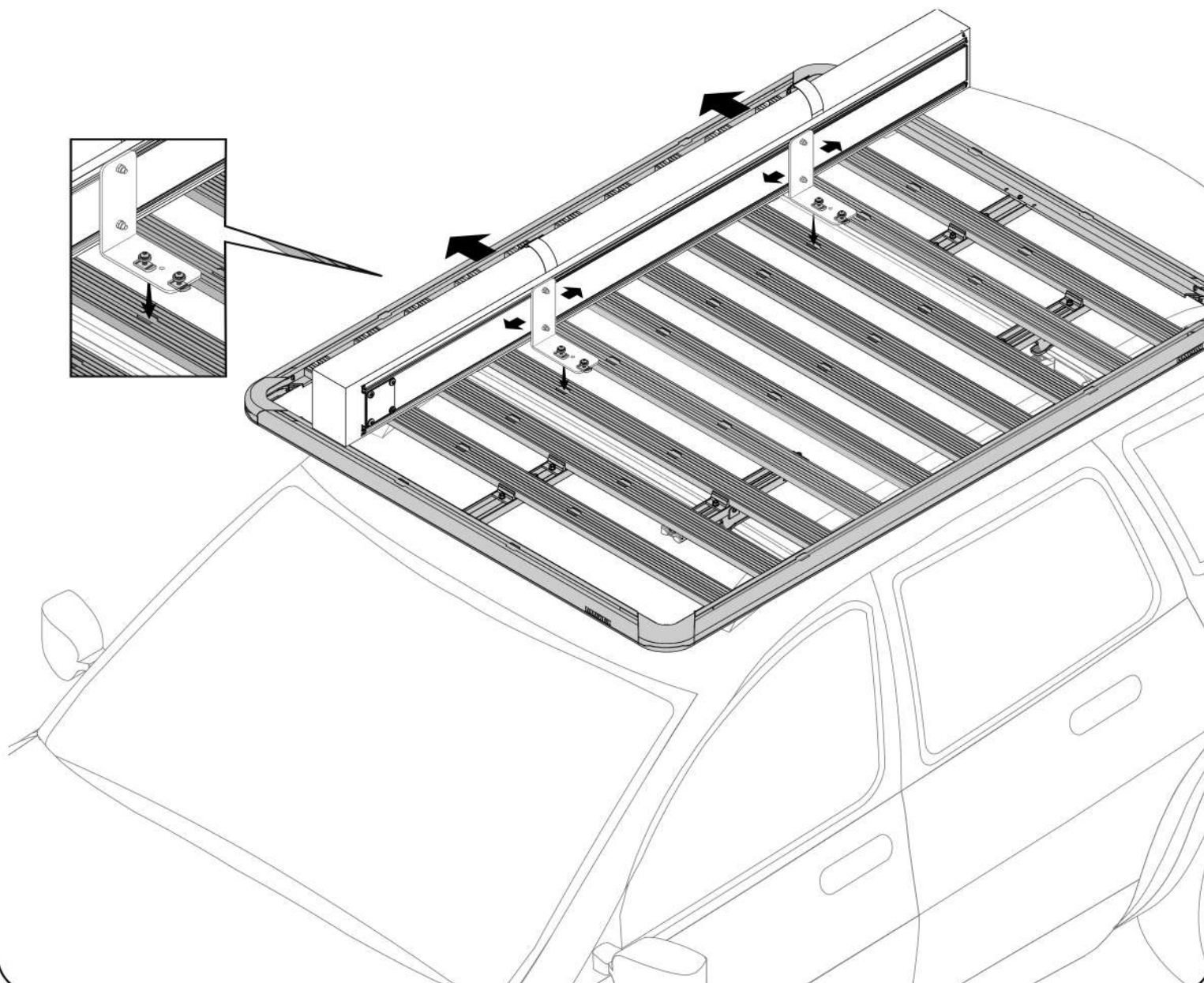
- TrimHDバーに取り付ける場合は、右図のボルト、薄ワッシャー、
L型ブラケット、厚ワッシャーの順で締めつけます。
- 3ページのステップ2に進み、M4を測定してください。
- 3ページのステップ3と4は飛ばしてください。
- その後、4ページのステップ5、6、7に従ってください。
- 最後に7ページのステップ8に進んでください。

ロックンロードへの取り付け

- プラットフォームへの取り付けは、ネジ、ワッシャー、ナットプレートを図の順番で緩く組み立てます。
- オーニングを持ち上げて設置するときは、必ず2人以上で作業してください。
- ブラケットをスライドさせ、スラットの開口部に合わせます。
- 図のように、ナットプレートをスラットの切り掛けから1枚ずつ挿入します。次に、2枚目のナットプレートをスラットの切り掛けから挿入できるように、オーニングをロックンロードの端いっぱいまで寄せます。
- ナットプレートがスラットにかかった状態で端に寄せます。
- レンチを使い、すべてのボルトを9Nmで締めつけます。
- 6ページのステップ8に進んでください。

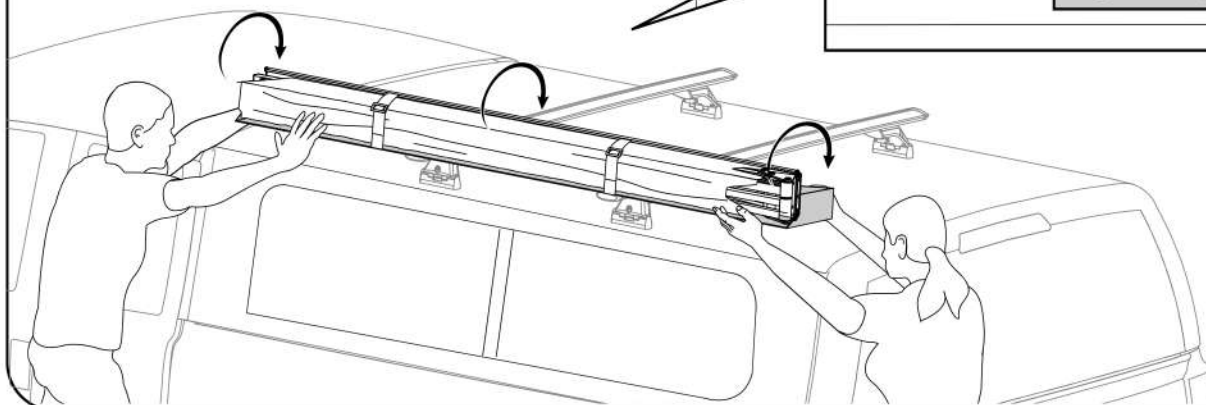
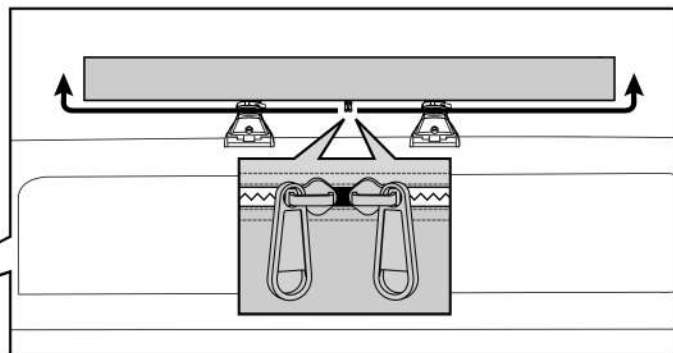


注意：各ブラケットからオーニングの端までは127cm以内で取り付けてください。



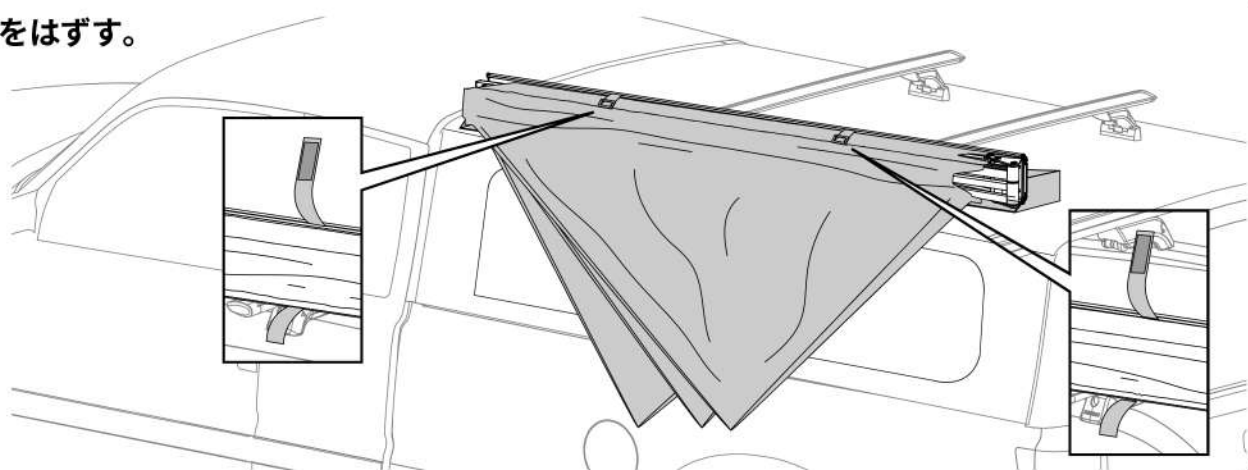
8 ジッパーを開け、カバーを開きます。

カバーのファスナーをゆっくり開けてファスナーが引っ掛からないようにします。その後、図のようにカバーを車両ルーフ側に折り返します。



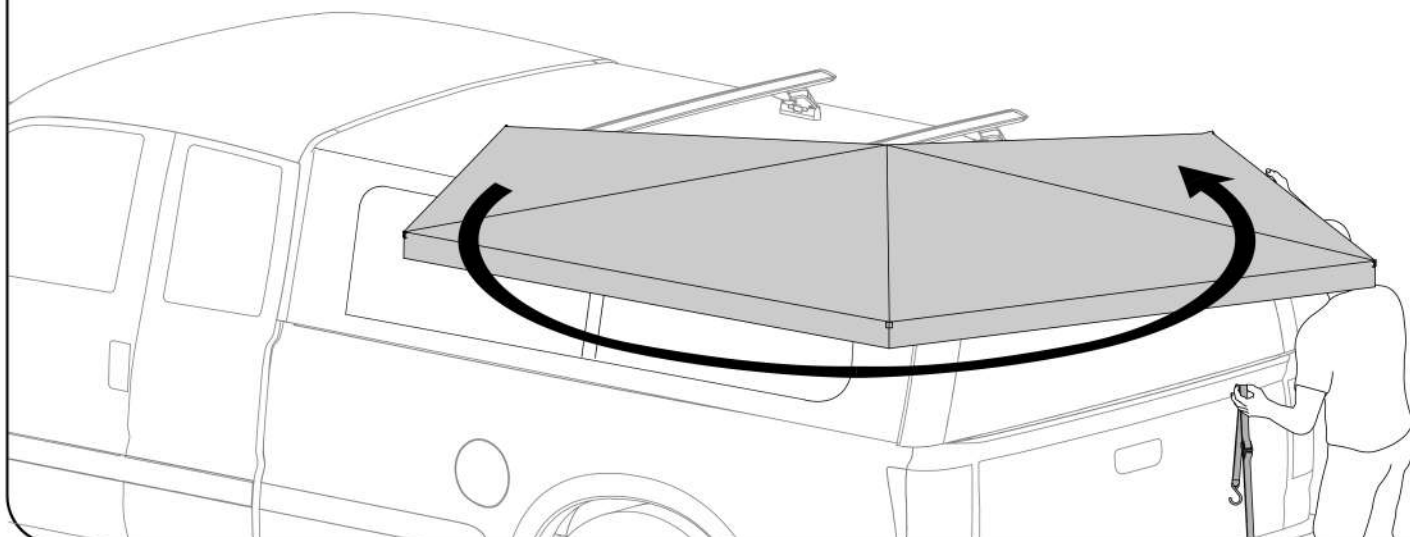
9 ストラップをはずす。

ストラップを外してオーニングの生地を広げます。



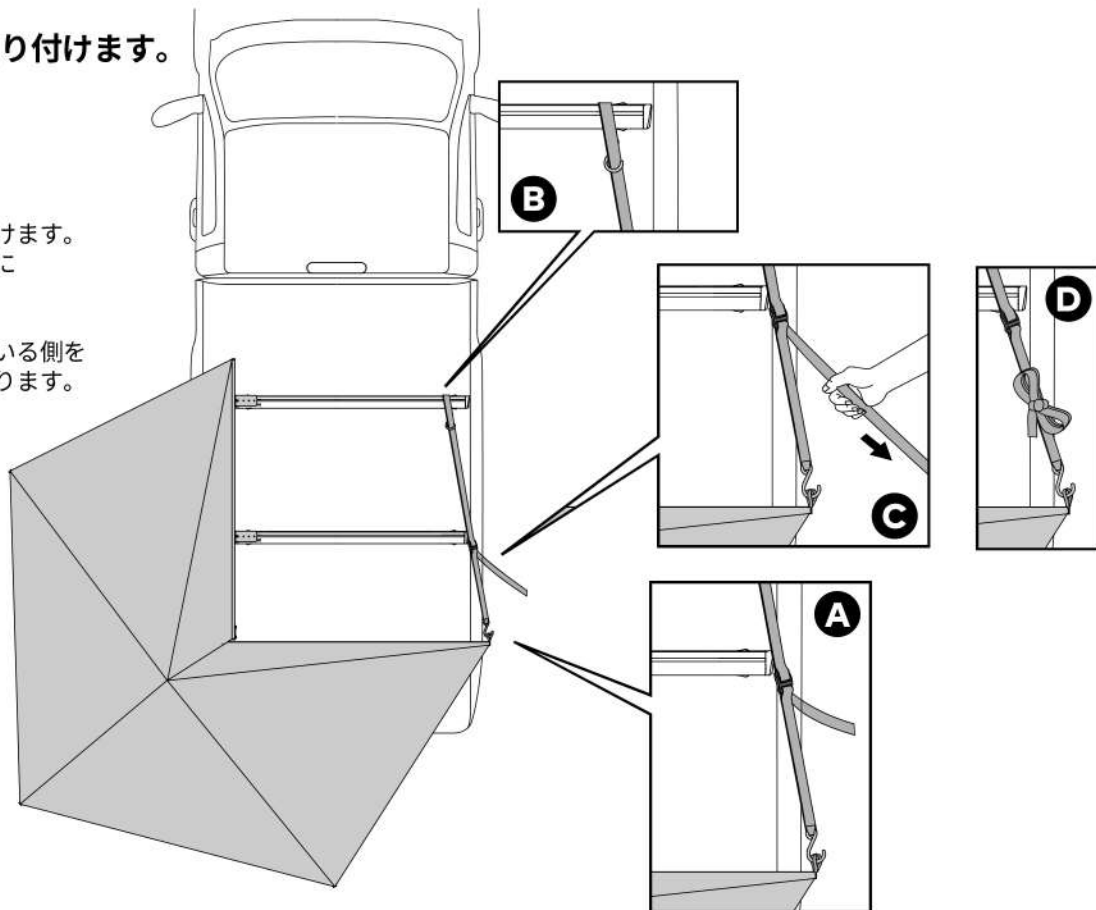
10 オーニングを展開する。

張り出しロープを一方の手で持ち、オーニングを展開します。

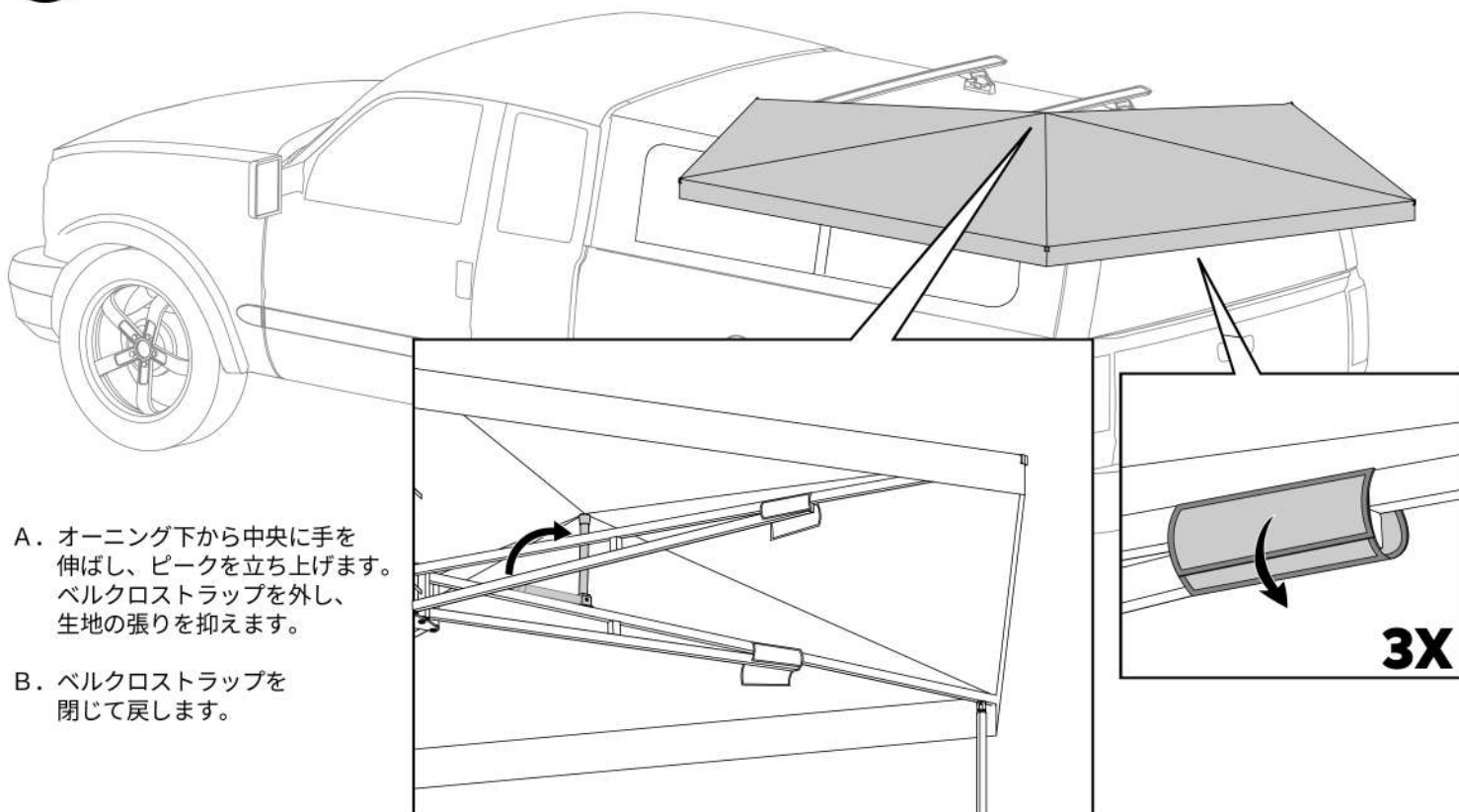


11 張り出しロープを取り付けます。

- A. オーニングの止め輪にフックを引っ掛けます。
- B. クロスバーにロープを巻きつけます。この時、ベースタワーの内側にロープを通します。
- C. ストラップのフリーになっている側を十分に張りが出るまで引っ張ります。
- D. ストラップを丸めてまとめます。



12 ピークを立ち上げます。



- A. オーニング下から中央に手を伸ばし、ピークを立ち上げます。ベルクロストラップを外し、生地のを抑えます。
- B. ベルクロストラップを閉じて戻します。

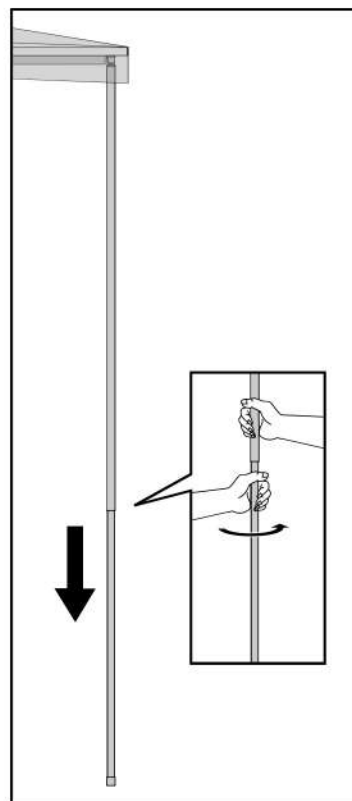
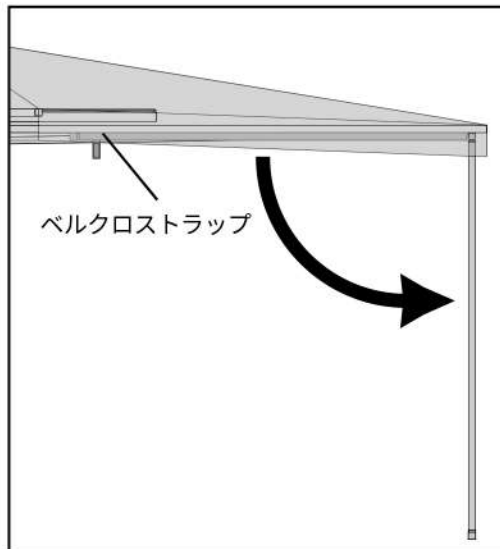
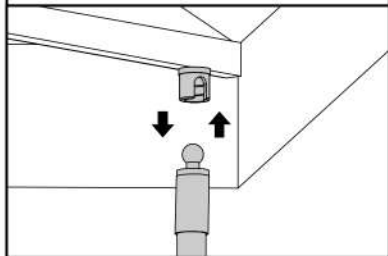
13 サポートレッグを伸ばす。



風がある場合、サポートレッグとガイロープを展開してください。
極端に風が強い場所ではオーニングを展開しないでください。
サポートレッグやガイロープが正しくセットされていない状態で
オーニングを放置しないでください。

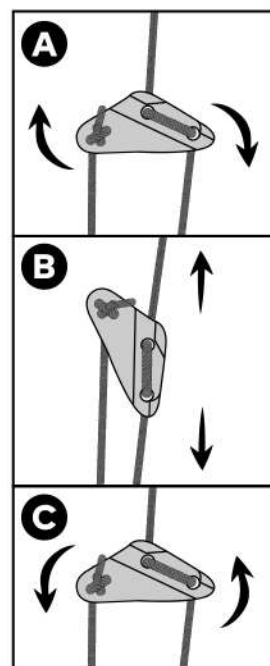
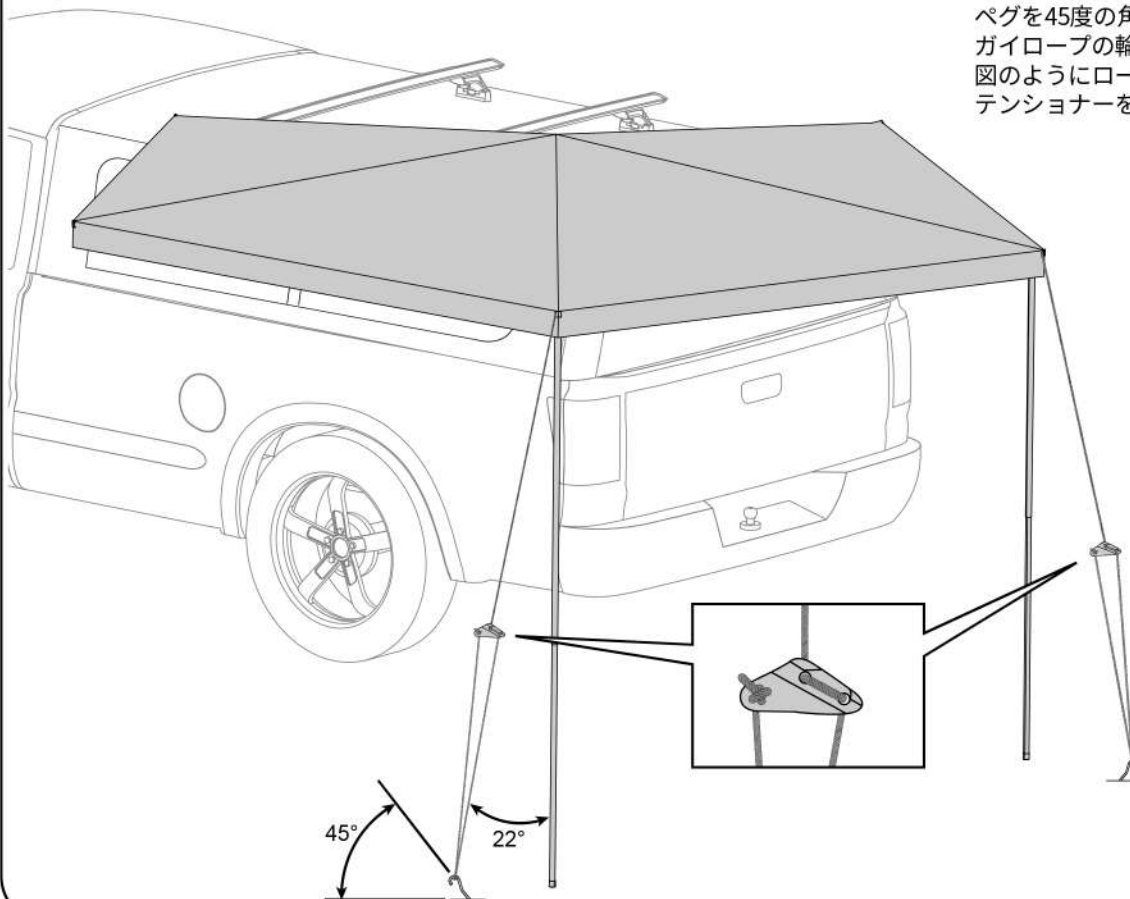
ベルクロストラップの位置を確認し、ストラップを外すとサポートレッグ脚が下へおります。
次に、図のように脚をひねって地面まで伸ばします。脚を反対方向にねじってロックします。

注意：脚はどの角にも取り付け可能です。その場合は、ポールをソケットから引き抜き、希望の位置に移動させます。

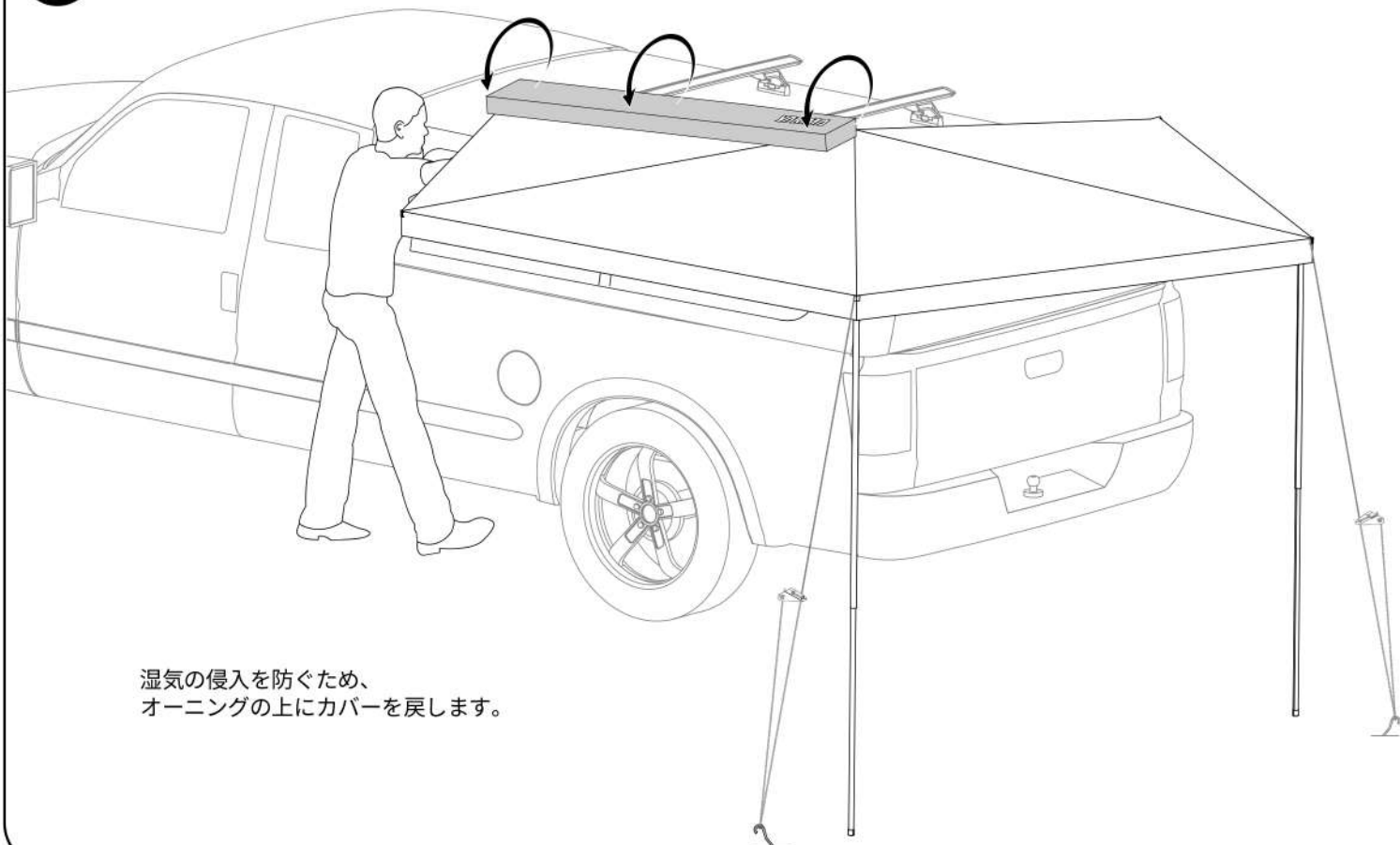


14 ガイロープを取り付ける。

サポートレッグから約30cm離れた位置に、ペグを45度の角度で地面に打ち込みます。
ガイロープの輪になった端をペグに引っ掛け、図のようにロープに張力がかかるまでテンショナーを上へスライドさせます。



15 カバーをオーニングの上に戻します。



湿気の侵入を防ぐため、
オーニングの上にカバーを戻します。

これらの警告をお読みください！

- ・本製品はTスロット設置専用です。
- ・人身事故や物的損害を避けるため、風の強い日には使用しないでください。予期せぬ事態が発生する可能性があります。風が発生する可能性がある場合、またはオーニングを放置する場合は、必ずサポートレッグ、ガイロープ、ペグを使用してください。本製品は、通常の天候・条件下での一般的な使用を目的として設計されています。
- ・自分の身長とサポートバーの位置に注意し、頭をぶつけないようにしてください。
- ・アタッチメント金具は時間の経過とともに緩むことがあります。使用前に点検し、必要であれば締め直してください。
- ・すべての金具が説明書に従って固定されていることを確認してください。
運転前の安全確認を怠ると、物的損害、人身事故、死亡事故を招く恐れがあります。
- ・自動洗濯機に入る前にはオーニングとヤマラックを必ず外してください。
- ・オーニングの下では、燃料を燃やしたり、酸素を消費する器具を使用しないでください。
これには、ろうそく、ガスランタン、灯油ランプ、ストーブ、調理器具、暖房器具などが含まれます。
- ・キャンプファイヤー、近くに日がある場所でオーニングは使用しないでください。
- ・出かける前にオーニングの取り付け金具を必ず点検してください。

ラックの取り付け

不適切に取り付けられたルーフラックやオーニングは、走行中に外れて重大な事故を引き起こす可能性があります。設置、取り扱い、使用は製品およびルーフラックの説明書に従って行ってください。

- ・走り去る前に。
- ・少し走ったところで、オーニングを取り付ける。
- ・長時間での旅行では定期的に。
- ・地形が悪いところでは2時間おきに。

自動車の運転と規制

どのような荷物を輸送する場合でも、車両の速度は、以下のようなあらゆる条件を考慮しなければならない。屋根上荷重が加わると、横風に対する感度が変化する。

オーニングのお手入れとメンテナンス

オーニングは、冒険のお供として長くお使いいただけるように設計されています。

オーニングの性能を最大限にするために、オーニングを長持ちさせる簡単なお手入れとメンテナンスをお勧めします。

- 毎回使用する前に、オーニングの取り付け金具を点検してください。必要であれば、中性洗剤と水で洗浄します。性能を維持するため、定期的に自転車用の軽い合成潤滑油で金具のネジ山に注油してください。
- 閉じる前に、十分に乾かしてください。
オーニングを閉じる前にしっかりと乾かすことができない場合は、できるだけ早くオーニングを開いて自然乾燥させてください。日よけを適切に乾燥させないと、カビが増殖し、日よけの素材が劣化したり、悪臭の原因となります。カビの発生はオーニング保証の対象外となります。
- オーニングを使用しないときは適切に保管することで、オーニングを長持ちさせることができます。
保管前にオーニングが完全に乾いていることを確認し、直射日光の当たらない涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ジッパーは均等な力で開け閉めしてください。無理に開けたり閉めたりしないでください。
ジッパーにほこりや汚れがつかないようにし、定期的に香りのない蜜蝋をジッパーの歯に塗り、潤滑剤としてください。そうすることでジッパーの寿命が延びます。
- 垂直サポートは、収納する時に汚れやほこりを拭き取ってください。
オーニングのアルミニウム製垂直サポートは、シリコンスプレーと布で定期的に拭いてください。
- オーニングのお手入れには中性洗剤とぬるま湯を使い、スポンジでやさしく洗います。
清潔な濡れたスポンジですすぎ、十分に乾かします。
- オーニングにカビが生え始めた場合は、1ガロンのお湯に1カップのLysol™を混ぜた溶液をスポンジに含ませ、乾燥させることで生地汚れを落とすことをおすすめします。
次に、濃縮レモン汁1カップを1ガロンのお湯に溶かした溶液を用意します。
この溶液をスポンジで直接患部に塗布し、Lysol™溶液を洗い流します。完全に自然乾燥させます。
これらの手順を踏むことで、カビの増殖を止め、臭いをなくすることができますが、汚れを完全に取り除くことはできません。
- 生地を長持ちさせるために、オーニングに過度の日光が当たらないようにしましょう。
紫外線は時間とともにオーニング生地や防水コーティングを劣化させます。
雨にさらされ、使用するうちにオーニング生地が劣化してきたら、
中性洗剤と水で洗濯し、303 Fabric Guard™などの撥水加工をすることをおすすめします。
その他の屋外生地のお手入れについては、お近くのアウトドアショップにご相談ください。

AWNING CARE AND MAINTENANCE

Your awning is designed to be a durable companion on your adventures. In order to keep it performing at its best, we recommend some simple care and maintenance steps that will help prolong the life of your awning.

- Prior to each use, inspect your awning mounting hardware. If necessary, clean with a solution of mild detergent and water. Periodically lubricate the threads on your hardware with a light synthetic bicycle lubricant to maintain performance.
- Dry your awning thoroughly before you close it. If unable to properly dry your awning prior to closing, open it up and air dry it at your next opportunity. Failure to properly dry your awning out can lead to the growth of mold and mildew which can degrade the awning material, cause discoloration, and foul odor. Mold and mildew growth is not covered under your awning warranty.
- Proper storage of your awning when not in use will prolong the life of your awning. Ensure it is fully dry prior to storage and store in a cool dry location free from direct sunlight.
- Zippers should be pulled with even force and in gentle fashion. Never force a zipper open or closed as it may damage your zipper. Keep your zippers free from dust and dirt and periodically apply non-scented bees wax to the zipper teeth as lubrication. This will prolong the life of your zippers.
- Vertical supports should be wiped free of any dirt or dust prior to stowing the awning. Periodically wipe down the aluminum vertical supports of the awning with silicone spray and a cloth.
- To clean your awning use a mild detergent and warm water gently applied with a sponge. Rinse with a clean wet sponge and allow to thoroughly dry.
- If mildew and or mold have begun to grow on your awning, we recommend cleaning the affected fabric by sponging on a solution of 1 cup Lysol™ mixed in 1 gallon of hot water and allow to dry. Next, prepare a solution of 1 cup lemon juice concentrate, and 1 cup salt, in 1 gallon of hot water. Sponge this solution directly into the affected areas to rinse out the Lysol™ solution. Allow to air dry completely. Taking these steps will stop the growth of the mildew and help eliminate odor, however it may not completely remove the stains.
- Avoid excessive sun exposure to your awning to prolong the life of the fabric. Over time, UV rays can degrade awning fabric and water proof coatings. If your rain awning material begins to break down due to exposure and use, we suggest washing the fabric with mild detergent and water followed by a treatment of water repellent such as 303 Fabric Guard™. Consult your local outdoor store for other outdoor fabric care products and use as directed.

注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従い行ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。
(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。
アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしている取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のよう
な時に確認してください。

- ・出かける前
- ・ラックまたは積載物を載せた後
- ・短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・長時間の移動では定期的に
- ・悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両
メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、
天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、
積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で
保管してください。(冬期は特に)
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモニ
ウム添加剤が入っている液体は使用しないでください。
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、
使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品
のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外の
スペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それ
によって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>